



～きらきらタイム～

協同性編

ひかり幼稚園では、異年齢児で3つのグループに分かれ、「きらきらタイム」として、1年間なかよしペアと活動をしていきます。

大きいクラスは頼りにされる事で異年齢の子と過ごす楽しさを感じ、意欲的に活動することにつながります。また小さい子に優しくする姿を認められることで自己有用感(自分の存在が周りの人の役に立っていると認識できること)につながっていきます。反対に小さいクラスにとっては、優しくされることでありのままの自分の存在を受けとめてもらえる心地よさを感じ、大きいクラスに対する憧れをもち、周りの人に対する信頼感につながっていきます。年齢の異なる子どもとふれあって、人との違いを受け入れ他者への思いやりの心を育む事ができるようにもなっていると思います。

初めてのきらきらタイムでは、かっぱの「こたろう」から手紙が来て、グループに分かれて、ペアでわらべうた遊び(※下記の枠内参照)などを楽しみました。今日は一緒に散歩に出掛けて来ましたよ！

・わらべうたってなに？

わらべうたとは日本の伝承童謡、子どもの民族音楽です。簡潔に言えば、古くから伝わってきた、日本の「うた」です。歌うだけでなく、動きやリズムをとりながら行うあそびです。

・わらべうたなどでスキンシップをとる効果は？

スキンシップをたくさん受けると子どもの気持ちを落ち着かせ、愛情が深まり、社会性が高まりストレス耐性が上がります。他者を信頼し安心して良好な人間関係が育まれます。

ご紹介した以外にもたくさん育まれる力があるわらべうたあそび。幼稚園でも計画的に取り入れています。家庭でも取り組むと愛着形成を助けたり自己肯定感を高めたりする事ができます。一緒に楽しめるように「おひさま新聞」でわらべうたあそびを紹介していきますね！

トウキョウト